

警城春秋

第五十號
 警城春秋社
 八六二五番地
 人刷印行發刊
 水稲木高
 所版活平

明るい生活は

スポーツから

警城スポーツ聯盟の

体育行事

民主日本の原則はオープン主義であらねばならぬ。あの政府當局でさへこの原則に則つてゐる。然るに地方自治團體がセクト主義を固持してゐるのは遺憾である。端的に云ふならば市町村當局は配給物を如何に配給したかと云ふことを一般市町村民に公示すべきである。もし當局が飽迄もこのオープン主義を拒否して闇で行く以上決して明るい生活、正しい政治は實現出来ぬ。當局が無能にして出来ぬと云ふならば一般大衆の手でこれを配給を監視するための委員会を作り、公正なルートに依る配給を必要とする。市町村當局よ、今湧き上つてゐる一般大衆の聲を何と聴くか、放任するに餘りにも重大過ぎる賢明なる當局の英断を希望して止まない。

全警城のスポーツ人を一丸として結成された警城スポーツ聯盟では既報の如く廿一日石城産婆學校に各代表四十六名を集集し準備委員會を開催、規約を決定次で會長に蓮沼龍輔氏を副會長に鈴木傳明、渡邊伊藤の兩氏を推薦、その他の役員を選任し更に次の如く各種体育行事を決定しついで二十一日常任幹事會を開き各種事項につき具体的に協議、市營綜合グラウンド設置の件その他を決定したが本聯盟は既に縣當局から承認され各運動用具類の當地方配給を引受けることになつた。

加盟その他の事務を取扱ふ本聯盟本部は平市田町六八番地本社内である。

各種体育行事

野球部

四月廿八、九日第一回選抜軟式野球大會(警女警中)組合せは二面掲載

五月十二、十九、廿六の各日曜日、第二回一般軟式野球大會、申込締切五月六日(警中、警女、第一)

五月十九日 午前九時(八時迄)參集(コト)

全警城個人選手権卓球大會(平第三講堂)參加資格制限なし 申込締切五月十五日 會費不用

籠球部

六月下旬 全警城籠球大會 申込締切六月十五日(平女)

六月下旬 全警城排球大會 申込締切六月十五日(平女)

五月下旬 ハイキング豫定コース 川前村夏井川溪谷 申込締切五月十日

六月初旬 登山(場所未定) 申込締切五月三十日

五月下旬 マラソン大會、驛傳競争 申込締切五月二十日

七月上旬 市民競技大會(平第三) 申込締切六月三十日

八月下旬 全警城水泳大會 申込締切八月二十日(警中)

水泳練習開始六月初旬の豫定 於警中プール

六月下旬 全警城庭球大會 申込締切六月二十日(警女)

八月下旬 全警城角力大會 申込締切七月三十日

人物紹介 松本榮一氏
 常磐石炭助成會専務

「炭礦といふ仕事はあまりめづらしい産業だつた。それといふのは石炭が潤つたつたからで丁度食糧が豊富であつたが故に農業に對する世間の關心が薄かつたと同様である。日本國は完全に戦に敗れてゐるのだ。我々は敗戦國民なのだ。資本家も労働者も今迄より好い條件で仕事をせよかうと考へてはいけぬ。職敗國の資本家であり労働者であるといふ事を自覺して甘い考へを捨て、日本再建のためあらゆる悪條件を克服して懸命な努力を続けなければならぬ。我々はお互に職敗國の國民であるといふ認識を喚起するが故に、この向が見える。語らば常磐石炭助成會の専務松本榮一氏である。當年廿七歳、茨城縣の生れ、水戸中學校から一高、東大法科に學んだ文

眞剣な投票を求む
 縣會議員 適任者は誰か
 次回選挙の候補者を一般大衆の手で選ぼう

正しき政治、明るい生活を築き上げるためには、我等は手近な地方自治團體の議員に眞に祖國を愛する人物を選ばなければならぬ。その人を選ばうこの意味では果して誰が我等の代表として縣會、市町村會議員を募集する事になつたか。

一、投票用紙は左記の通り
 一、一人一票(單記) 一、第一回締切五月末日 一、推薦者は當該市町村在住者たること

貝殼放追
 眞實の聲は敗戦後、紙に乗つて舌につけて若くはあふれてゐる。誠に喜ぶべきことではある。併し誰が信用してゐるのだらう。暇をつぶして金を使つても罪はらばしにすればよい位では、金輪際戦災死者は浮ばれぬ。

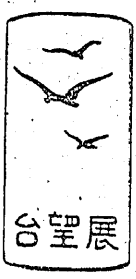
○鼻をかむで一番紙質のよかつた推薦状は某氏のだから、必ず當選疑ひなしと云つてゐる人間の甚だ得意の目もあつた。御存知の通り彼の確信こそ太陽の光で消え果てたが闇の中ではかゝる確信も堂々通用する。蠅の集るのには食ひもの、あるところと腐つたものへ、誘信、確信、狂信のバイキンがたかりつゝ蠅が運ぶ。これ生理の學的批判力のある石城郡は民主主義的批判力の完壁なる点に於て實に見事である。民主議會に送られた御一人者は曉天の星一老である。

天命を知る壽翁の社長に、進歩の旗六尺をなすりてホッ胃腸薬を愛用せよと云つた時を一秒でも早く現出させてもらひたいと願ふのは生粋の石城在住健民ばかりではあるまい。石城と云へば人の悪いで名取りの地盤だ。例へば人の當選でも十三番目へもつて仁義は忘れぬ。これ郷土の誇である。○汝自身を知れとあつちの神社の壁の樂書ださうだが、樂書に於てはよく出てゐる。戦争に負けつたから、落選したからかうなつたか。うなづかぬと云ふのでないか。イロハ加留多にもあるではないか。無理が通れば道理が引込む。評判でもは當つてゐる。この方が多い。○民主主義にもやはり國體と舶來と二通り製造される様である。代用品も現れてゐる。愛されたる労働組合も誕生した。云はれてゐるが、演説會と漫遊雜踏を見せられて、賃金を上げてくれた都合がよいのだ相だ。併し内緒でさうさ失張リ日本人が役員をしてゐるので、何となく偉い様で内情はあつたない氣持が最近して来た。云ふ。

○選挙のピラが殘骸をば板壁にさらされてゐる。あつたは野となれ山となれ。脱衣して紙を忘れた風景である。代議士にならうとする位の御方だから國家の大事業にのみ心を配られるのであらう。この点尊敬に値する。過日國民學校の生徒らが教師に引率されてモシモシ作樂をやつてゐた。次の時代の小國民がいつて尻のくひでは何時の日シヤツボがかぶれるやら(草野正展)

市町村當局

民主日本の原則はオープン主義であらねばならぬ。あの政府當局でさへこの原則に則つてゐる。然るに地方自治團體がセクト主義を固持してゐるのは遺憾である。端的に云ふならば市町村當局は配給物を如何に配給したかと云ふことを一般市町村民に公示すべきである。もし當局が飽迄もこのオープン主義を拒否して闇で行く以上決して明るい生活、正しい政治は實現出来ぬ。當局が無能にして出来ぬと云ふならば一般大衆の手でこれを配給を監視するための委員会を作り、公正なルートに依る配給を必要とする。市町村當局よ、今湧き上つてゐる一般大衆の聲を何と聴くか、放任するに餘りにも重大過ぎる賢明なる當局の英断を希望して止まない。



展望 望 30

◇等しからざるを愛ふ
 新圓生活になつても温泉その他の遊覽客は減少しない。と云ふ。平市内を考へて見てもはつきり分る。一方では五百圓生活で青息吐息である。果してこれでよいのだらうか。芝を愛へず、等しからざるを愛ふ。この

精神を忘れたならば如何なる世相が惹起するかは明白である。各關係者各位よ、その時の罪は一体誰にあるのだらう。もつとどしどしつかりしてくれと祖國を愛するが故警告する。(愛國生)

◇醫療費と封鎖支拂
 政府は醫療費に對する封鎖支拂を許容してゐる。誠に有難い、結構な法令だが果して實現されてゐるであらうか。断じて否、醫者は實を望む。(警城青年覆面生)

六月下旬 全警城籠球大會 申込締切六月十五日(平女)

六月下旬 全警城排球大會 申込締切六月十五日(平女)

五月下旬 ハイキング豫定コース 川前村夏井川溪谷 申込締切五月十日

六月初旬 登山(場所未定) 申込締切五月三十日

五月下旬 マラソン大會、驛傳競争 申込締切五月二十日

七月上旬 市民競技大會(平第三) 申込締切六月三十日

八月下旬 全警城水泳大會 申込締切八月二十日(警中)

水泳練習開始六月初旬の豫定 於警中プール

六月下旬 全警城庭球大會 申込締切六月二十日(警女)

八月下旬 全警城角力大會 申込締切七月三十日

紙用票投回一第

次回選挙		市町村會議員適任者推薦	
區	住	區	住
縣會議員	平市	縣會議員	平市
市町村會議員	平市	市町村會議員	平市
議員	村町市	議員	村町市

昭和二十一年 月 日 職業氏名 住所

磐城春秋社 御中

